

名古屋大学大学院生命農学研究科
附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド（附属農場）
「農場講演会」のお知らせ

名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド（附属農場）では、地域貢献事業の一環として、以下の講演会を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

第1回 7月31日（木） 午後2時00分～3時30分

「シロアリが築く朽木の中の王国：化学物質を介した情報伝達を基盤とした社会」

講師 三高 雄希 先生（名古屋大学大学院生命農学研究科）

シロアリが木造建築物を食べる害虫であることは古くから広く知れ渡っていましたが、彼らが木材の中で普段何をしているのか、どうやって繁殖しているのか、どうやって木材を探し出すのかといった基本的な生態については長いこと不明のままでした。しかしこの15年間で、彼らの驚異的な繁殖方法や生活史、高度なコミュニケーション方法と社会システムなどが次々と明らかとなってきました。本講演では、あまり知られていないシロアリの社会の仕組みと、それを支える化学物質を介したコミュニケーションを中心にお話ししたいと思います。

場所：東郷町民会館 大会議室

〒470-0198 愛知郡東郷町大字春木字羽根穴14（駐車場あり）

<http://www.town.aichi-togo.lg.jp/>

参加費：無料（事前の申し込みは不要です）

主催：名古屋大学大学院生命農学研究科

後援：東郷町

問い合わせ先：東郷フィールド事務室

電話：0561-37-0200、メール：field-c@t.thers.ac.jp

今後の農場講演会の予定

第2回 10月25日（土） 午後2時00分～3時30分

「イネの穂のかたちはどう決まる？ ～お米の実りを左右する遺伝子のひみつ～」

講師 縣 歩美 先生（名古屋大学大学院生命農学研究科）

※第2回農場講演会の会場は、名古屋大学東郷フィールド（附属農場）「農業館」です。

イネにも個性がある！？

実は、イネの「穂（ほ）」のかたちはいろいろあって、その違いが、お米のとれ方＝収穫量に大きく関わっています。本講演では、「どうしてイネの穂のかたちが違うの？」「その仕組みは？」といった疑問を、遺伝子の働きから探っていきます。お米の実りを左右する「遺伝子のひみつ」、そして未来のイネ作りにも繋がる研究について、楽しくお話しします！